【参考資料-2】

インフラマネジメントに関する国土交通省全体の動向

令和8年11月5日

インフラ老朽化対策に関する計画の体系

➢ 平成24年の笹子トンネルの事故を契機に、国、地方自治体等の全分野にわたるインフラ長寿命化の計画体系を構築し、各インフラ管理者における取組を推進。

（政府全体）

インフラ長寿命化基本計画（国）

H25.11関係省庁連絡会議決定

〇インフラの長寿命化に関する基本方針
・目標とロードマップ
・基本的な考え方
・インフラ長寿命化計画の基本的事項
・必要施策の方向性
・国と地方の役割
・産学界の役割等

インフラ長寿命化計画（国の全分野）

（行動計画）

公共施設等総合管理計画（自治体レベルの全分野）

※省庁毎に策定

国土交通省
H26.5.21第１次行動計画策定
R3.6.18　第２次行動計画策定

※自治体毎に策定

〇基本計画の目標達成に向けた行動計画
・対象施設
・計画期間
・所管インフラの現状と課題
・中長期的な維持管理・更新コストの見通し
・必要施策の具体的な取組内容と工程
・フォローアップ計画
※施設特性に応じて必要施策を具体化

施設毎の長寿命化計画
（個別施設計画）

道路　河川　港湾　海岸　　道路　河川　港湾　海岸

〇施設の状態に応じた詳細な点検・修繕・更新の計画
・対象施設、計画期間、対策の優先順位の考え方、個別施設の状態等、対策内容と実施時期、対策費用

八潮市道路陥没事故から現在までの経緯

中間答申に関する今後のスケジュールについて

社会資本整備審議会・交通政策審議会 技術分科会技術部会 インフラマネジメント戦略小委員会(第6回)資料を加工

<令和7年>

1月28日	埼玉県八潮市で下水道管路の破損に起因する大規模な道路陥没 ➡有識者委員会の設置
12月1日	第３次提言　信頼されるインフラのためのマネジメントの戦略的転換

↓

12月16日	大臣諮問（社会資本整備審議会・交通政策審議会） 「今後のインフラのマネジメントのあり方について」

↓

<令和8年>

1月～	インフラマネジメント戦略小委員会 第１回～第３回：論点の整理、関係団体へのヒアリング 等 第４回：今後のインフラのマネジメントのあり方に関する方向性（案）について 等 第５回：中間とりまとめ（素案）について 等

↓ パブリックコメント（9月3日~9月16日）

9月30日	第６回：中間答申（案）について 等

↓

10月上旬	(技術部会) 中間答申（案）審議

↓

中間答申の公表

社会資本整備審議会・交通政策審議会
今後のインフラのマネジメントのあり方について　中間答申の概要

【参考資料-2】

社会資本整備審議会・交通政策審議会
技術分科会技術部会
インフラマネジメント戦略小委員会
令和8年10月20日　中間答申概要資料

主旨　これまでのインフラメンテナンスの取組や実態調査を踏まえた地方公共団体における現状と課題を踏まえ、インフラメンテナンスからインフラマネジメントへの戦略的な転換に関する基本的な方向性及び国土交通省等が重点的に講ずべき施策に関して、技術部会インフラマネジメント戦略小委員会（令和7年12月設置）において審議し、取りまとめたもの。

第1章　現状と課題

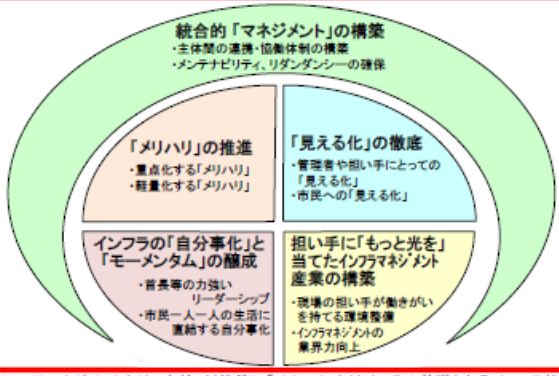
○インフラを取り巻く社会経済情勢
○これまでの取組と地方公共団体における現状・課題
- ●施設の重要度や役割等を踏まえて優先度を設定した取組が十分にできていない
- ●管理者への見える化のための新技術導入が十分に進んでいない
- ●首長及び地方議会等の理解醸成や地域住民との協働の推進等が課題
- ●市民へインフラの状況を公表する取組が半数にとどまる
- ●地域の維持管理を担う担い手の減少
- ●群マネの導入等が十分に進んでいない　等

第2章　インフラマネジメントへの戦略的転換に関する基本的な方向性

社会インフラの信頼性に対する国民の懸念を払拭し、安全・安心で持続可能な社会の実現に向け、インフラメンテナンスからインフラマネジメントへの戦略的転換が必要。戦略的転換に向けた5つの方策を整理

○「メリハリ」の推進　○「見える化」の徹底　○インフラの「自分事化」と「モーメンタム」の醸成
○担い手に「もっと光を」当てたインフラマネジメント産業の構築　○統合的「マネジメント」の構築

インフラマネジメント※



※インフラマネジメントとは、点検・対策等に「メリハリ」を付け、その基礎となるインフラ状況等の「見える化」とそれを通じた変革への「モーメンタム」の醸成を図り、担い手に「もっと光を」当てる取組を進め、その上で、様々なインフラ分野や主体間の連携・協働（機能的）、地上や地下等に分散して存在する種々のインフラを一体的に捉えること（空間的）、計画・設計・整備・維持管理・更新等のライフサイクルを一連として考えること（時間的）を踏まえ、それらを統合的にマネジメントすることにより、全体として最適化すること。

第3章　インフラマネジメントへの戦略的転換に向けて重点的に講ずべき施策

現在直面している課題を克服するため、国土交通省等が重点的に講ずべき具体的な施策を提言

1.「メリハリ」を推進するための取組
○点検箇所や方法等のメリハリを付けた重点化
○メンテナンスの優先度設定の考え方を整理した上で、地方公共団体に対して研修等を通じて周知
○劣化メカニズム等の研究推進　等

2.「見える化」を徹底するための取組
○新技術の性能カタログ等の策定・充実
○長寿命化に貢献する技術等を積極的に評価・活用
○データの標準化やデジタル化の推進
○インフラの劣化状況等のマッピングによる見える化　等

3. インフラの「自分事化」と「モーメンタム」を醸成するための取組
○インフラの劣化状況等のマッピングによる見える化
○インフラメンテナンス市区町村長会議等を通じた首長や地方議会にインフラマネジメントの重要性に関する理解を促進
○SNS等を活用した情報発信の強化　等

4. 担い手に「もっと光を」当てたインフラマネジメント産業を構築するための取組
○更なる処遇改善や働き方改革、表彰制度の推進
○地域の維持管理を合理的・効率的に受発注できる仕組み等の検討
○インフラマネジメント産業の健全な発展を図るための仕組みの検討
○新たなインフラ老朽化対策技術の開発・現場実装の推進　等

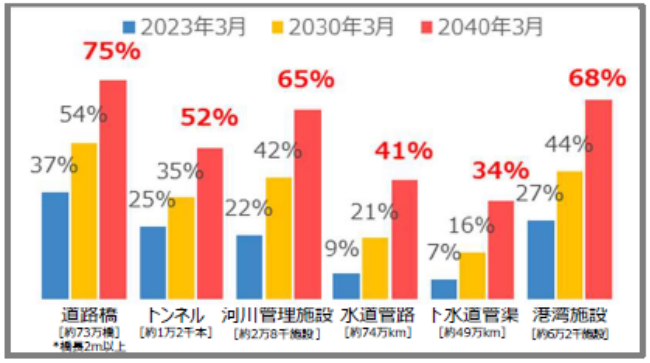
5. 統合的「マネジメント」を構築するための取組
○インフラの統合的マネジメントを推進するための制度の検討
○群マネの手引きの充実、包括的民間委託導入の手引きの周知
○産学官のアドバイザーによる職員の技術力向上を図る体制の構築
○BIM/CIMを活用したデータ連携の推進
○計画段階からのメンテナビリティ、リダンダンシーの確保の検討
○過去のデータも踏まえ、改築、新設の仕様の検討
○地方公共団体等への財政的支援の充実
○補助金や交付金の制度の解説や先進事例等の整理　等

参考：地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）

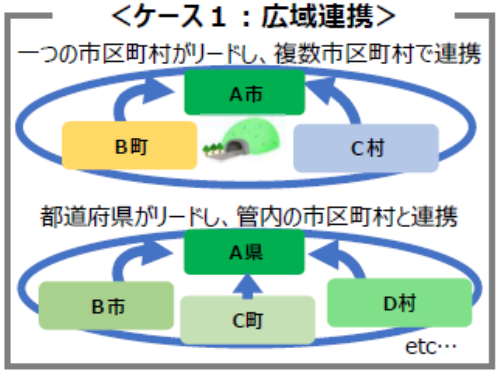
国土交通省
【参考資料-2】

○ インフラ長寿命化に向けては、予防保全への転換を担う人的資源等を補完することが重要であることから、広域・複数・多分野のインフラを「群」として捉え、効率的・効果的にマネジメントしていく「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の検討を推進。

［建設後50年以上経過する社会資本の割合］

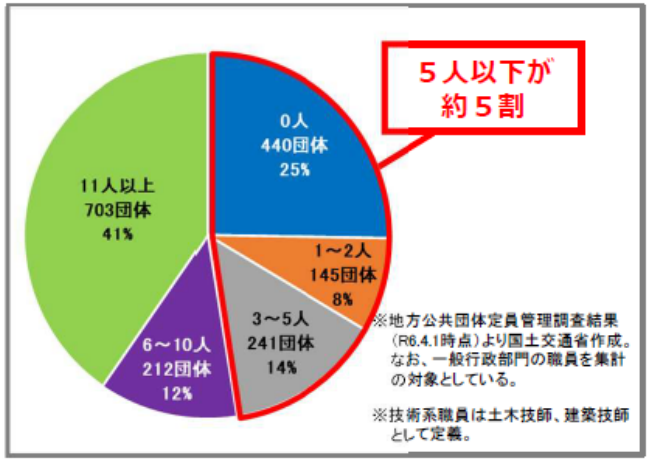


［地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)のイメージ］





［市区町村における技術系職員数］



［群マネの３つの群（＝束ねるもの）］



期待される効果

- 技術系職員が一人もいない町でも、県や近隣の市などと連携し、技術的な知見を補完
- 道路、河川、公園等の管理をまとめて発注したり、巡回などの管理業務をまとめて行うことにより、効率化